

KOGANEI

補助機器

HYDRO-CHECKERS HYDRO-SPEED REGULATORS

ハイドロチェッカ ハイドロスピードレギュレータ INDEX

RoHS指令規制物質対応製品

ハイドロチェッカ	
仕様・注文記号・内部構造と各部名称	758
寸法図・取扱い要領と注意事項	759
ハイドロスピードレギュレータRBシリーズ	
仕様・注文記号	760
寸法図・用途例・取扱い要領と注意事項	761



注意

ご使用になる前に後付ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

CMZ、FRZ
小形 FR
マルチ
マニホールド R
大形 F.R.L.
サブライン
クーラセレータ
ドレン F
圧力計
膜式ドライヤ
チューブドライヤ
インライン F
QJレギュレータ
小形精密 R
ステンレス R
精密ステンレス R
電一空 R
DT コンプレッサ
QJスタンダードミニ
QJスタンダード SUS
QJロータリ
TAC継手
QJS
QJSダイヤル付
スロットルバルブ
ハンドバルブ
ストップ弁付 QJ
チェックバルブ
パワーレギュレータ
コネクタ
サブライジョイント
チューブ
圧力スイッチ
流量センサ
多チャンネル MSU
ショックアブソーバ
ハイドロ C・R
iB-Flow
スピードコントローラ
マフラ、エキゾースト
コンバータ、プリーダ
ホルダ & コラム
インジケータ
ブラチェーン
真空バルブ U
インラインエジェクタ
エジェクタ ME
エジェクタ FME
エジェクタ多段
バキュームパッド
真空 R
異形/特種シリンダ
非接触
真空 Pユニット
吸着 U
VYP
DT 真空ポンプ
ピュアプロセス
フッ素ポンプ

ハイドロスピードレギュレータ

RBシリーズ スプリングリターンタイプ

- 負荷が急激に変動しても、制御速度の変化が最少で、安定しています。
- 特殊形状の流量調節弁の採用により、特に10mm/s以下の低速域での速度微調節が容易です。



スプリングリターンタイプ (RBシリーズ)

最大ストロークと負荷範囲によって6タイプがあり、配管・配線は不要です。

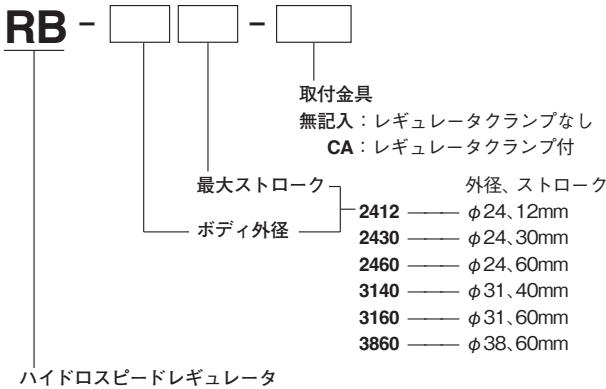


仕様

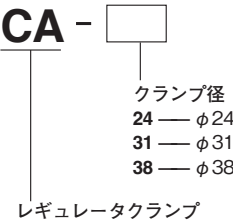
項目	形式	RB-2412	RB-2430	RB-2460	RB-3140	RB-3160	RB-3860
リターン方式		スプリングリターン ^{注1}					
最大ストローク	mm	12	30	60	40	60	60
制御負荷範囲	N	98~490	200~1500		490~2900		2200~5400
許容衝撃負荷	J	1.47	2.45		3.92		5.88
推力別 制御速度範囲	mm/s	F=98N時0.2~20 F=300N時0.3~30 F=490N時0.4~35	F=200N時0.1~5 F=490N時0.2~25	F=980N時0.3~40 F=1500N時0.4~50	F=490N時0.1~10 F=1500N時0.2~25	F=2200N時0.3~35 F=2900N時0.5~40	F=2200N時0.2~15 F=3700N時0.3~25 F=5400N時0.4~30
質量 (本体)	kg	0.35	0.41	0.58	0.95	1.20	1.80

注1：負荷を除くとロッドは自動的に復帰します。
2：上記仕様以外のレギュレータも製作いたします。最寄りの当社営業所へご相談ください。

注文記号



●レギュレータクランプのみの場合



【RBシリーズ製造元】

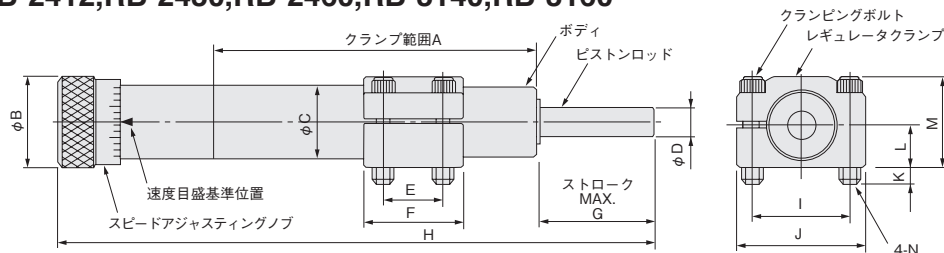


株式会社 スギノマシン

本 社 936-8577 富山県滑川市栗山2880番地 ☎ (076) 477-2555
技術サービス課 936-8588 富山県滑川市中野島1800 ☎ (076) 475-5111 FAX (076) 475-8666

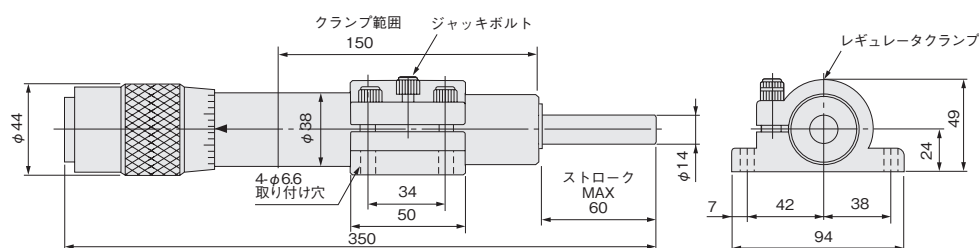
寸法図 (mm)

RB-2412, RB-2430, RB-2460, RB-3140, RB-3160

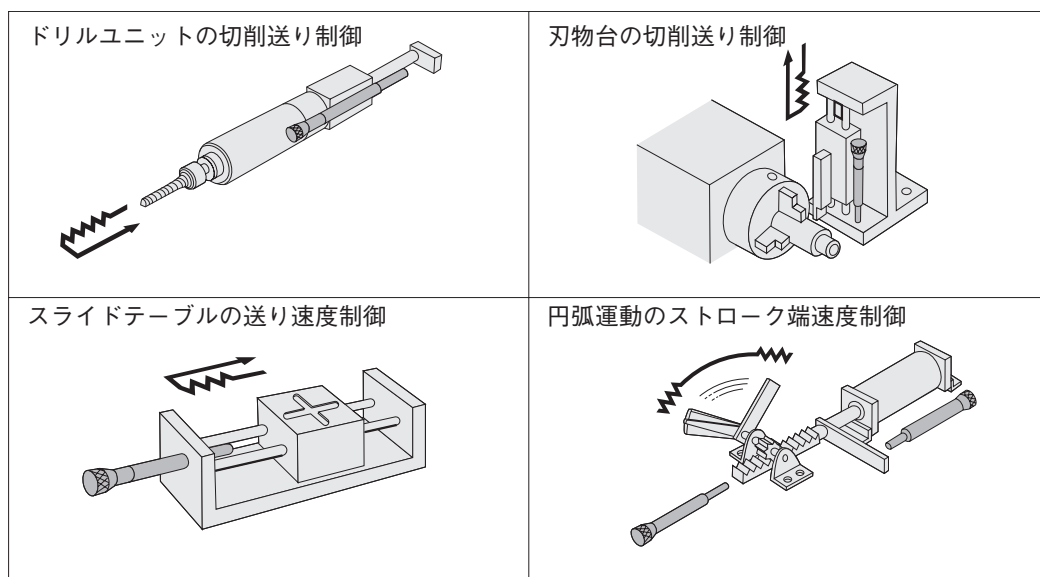


形式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
RB-2412	78							12	160						
RB-2430	100	28	24	9	20	32	30	200	34	44	5	15	30	M5	
RB-2460	181						60	311							
RB-3140	135	36	31	12	24	40	40	270	42	58	7	20	40	M6	
RB-3160	175						60	331							

RB-3860



用途例



取扱い要領と注意事項



一般注意事項

1. ハイドロスピードレギュレータを、ショックアブソーバとして使用することはできません。
2. ストロークおよび負荷は必ず仕様の範囲内で使用し、衝撃負荷、特に重負荷の衝撃を与えないようにご注意ください。
3. 仕様に示す温度範囲内で使用してください。
4. 荷重は軸心に垂直に加わるようにし、横荷重が加わらないように取付けてください。
5. ロッドを無理に回したり、ねじったりしないようにしてください。
6. ピストンロッドの端面がトップキャップ端面より内側に押し込まれない範囲でご使用ください。また、被制動物体のストロークエンドには、必ずストッパを設け、トップキャップがそれを兼ねるようなご使用は避けてください。